

特集

第1回

城下町
村上

春の庭百景めぐり

新緑を感じて

「第1回城下町村上 春の庭百景めぐり」が5月1日から31日まで開催されました。

「町屋の人形さま巡り」「町屋の屏風まつり」に続く、まち歩きイベント第3弾は、町屋地区だけでなく、旧武家町地区や寺社など71軒が、庭・盆栽・山野草などを公開。この催しに、市内はもちろん全国各地から多くの観光客が訪れました。

この新たなイベントの魅力をレポートします。





ポスターのデザインに使用された中庭(長楽寺)



見事な中庭にうっとり(佐藤家)



茶の間から中庭をのぞく(富士美園)



黒門と庭(村上信用金庫)



テレビでも紹介されたツツジの垣根・中庭(岸家)



色とりどりの鉢植えの花々(竹石家)



下渡山を背景にした庭(奥村酒店)



蔵とマッチした中庭(町屋のギャラリーやまきち)



壮大なスケールの中庭(満福寺)



何色ものバラにリピーターが続出(井上家)



新たな催しが始まった

「この庭めぐりは、決して品評会ではありません。木や花を通してのひとひとの触れ合いも楽しんでほしい」と主催者である城下町村上庭の会長山口治雄さん（新町）のあいさつで開幕した「第1回城下町村上春の庭百景めぐり」。

開催に至る経緯

庭の会の事務局を担当している古川真嗣さん（村上町屋商人

会長）は、「昨年の屏風まつり」で一部の庭を開

放したところ、庭のファンが多いうことが分かりました。これは、単独でも開催出来るのではないかと思い、庭の会を立ち上げました。これまでの人形さま巡りや屏風まつりのように町屋地区だけでなく、旧武家町地区（羽黒口、二之町など）や寺社の人を声をかけ、何とか70軒あまりのご賛同いただき開催することができました」と、開催に至る経緯を話します。

また、会長の山口さんも「庭



開催に向け会合を重ねた庭の会の皆さん



主人自ら剪定している中庭（金光教村上教会）

を開放してもらうということは自分の敷地に見知らぬ人が入ってくる。トラブルなどを気にして賛同してもらえないかもしれない不安がありました。特に旧武家町地区は、まち歩きイベントは未開拓地なので、庭の会の皆さんの知り合いの人に声を掛け、賛同者を増やしていき「ました」と話しました。

実際に巡ってみた

開催中は晴天の日が続く、まち歩きの良い期間となりました。実際に庭の地図を片手に歩いてみると、吹く風が肌に心地よく、本当にすがすがしい。特



山野草展も開催されました（益甚酒店）

に今回初めてまち歩きエリアとなった旧武家町地区では、お城山の圧倒的な存在感に驚かされました。青々とした巨大なお城山をバックに多くの庭を拝見。地区の特徴である生垣をとりまわっている住宅が多く、閑静な佇まいがより一層新緑を引き立てていました。

お寺の庭では、今回のポスターのモチーフとなった長楽寺（羽黒町）の山居山に面した見事な庭園に、しばし目を奪われるほど。村上にもこのような壮大なスケールの庭があることに驚き、ほかの季節にも見てみたい思いに駆られます。

町屋の中庭（坪庭）は、家の中

ます。家の中にいながら、光がそそぐ風情のある庭を見る。それだけで趣を感じ、落ち着きます。そのほか色鮮やかな花に彩られた庭、たくさんのお城山に囲まれた庭など、それぞれ特徴のある庭をいくつも拝見することができました。まちを歩いたことで、今回公開していないすてきな庭もたくさんあることがわかりました。

また、5月は村上では新茶の季節。庭めぐりと同時にこちらでお茶会も開催されました。鮮やかな新緑の中で新茶をたしなむ。北限のお茶どころ村上ならではの風物詩です。重要文化財若林家住宅でも4日間行われ、延べ334人が、新緑の庭を眺めながら、お茶を楽しみました。



新緑の中庭を眺めながらのお茶会（若林家住宅）

庭めぐりへの

声

「とてもすてきでした。秋の屏風まつりにもぜひ来たくなりました」(埼玉県・50代夫婦)

「村上の新たな発見でした。すてきな庭を見ることができてとてもよかった」(市内・30代男性)



「屏風まつり、人形さま巡りも見ました。第3弾と聞いて来ましたが、見ごたえがあります。さわやかな風に誘われて小路を歩くこともうれしい」(胎内市・40代夫婦)

「ふつうは嫌がるのに、庭を開放して見せてくれるなんてすごいです。人情がありますね」(大畠市・50代夫婦)

「地元にいるけどこんな立派な庭があるとは思いませんでした」(市内50代女性)

「テレビを見てやってきました。特にお寺の庭は立派でした。村上の町並みも良かったです。」「三つ落ちていないことにも感謝しました」(新潟市秋葉区・40代女性)

(新潟市秋葉区・40代女性)

「3月の人形さま巡りも来ただけ、庭めぐりもやると聞いてまた来ました。村上はいろいろやってすごいと思う」(燕市・50代男性)



「まち歩きイベント第三弾と聞いてやってきました。食べ物もおいしいし、人も優しい。村上の大ファンです」(三条市・30代家族)

(三条市・30代家族)



このマップを手に観光客が巡った

開催をふりかえり

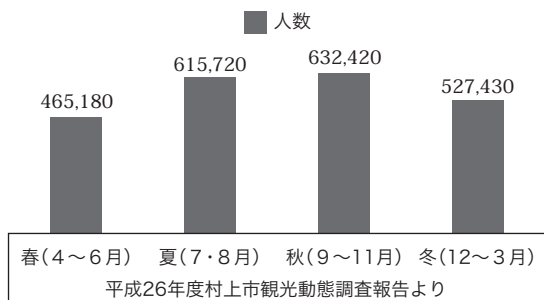
庭の会の山貝世津子さんは「天気にも恵まれたことが一番良かったです。人形さま巡りや屏風まつりは家の中が中心ですが、今回は庭ということ、開放感で新たな村上の魅力を見ることができました。旧武家町地区の通りにもぎやかになって良かったです」と振り返ります。「新茶の季節でもあり、お茶の会も好評で、着物姿で町を歩く人も多く見られました。次回はより多くのお茶会の方も広げていければいいと思います」と次回への意欲を語ります。

庭の会で事務局を担当した益田茂彦さんは、「旧武家町地区の人から、はじめは庭を見てもらうことが億劫(おくづ)だったけど、観光客とのふれあいが楽しくなってきたと聞いてうれしかった。やはり村上の人は、おもてなしの心があると感じた」と笑顔で話してくれました。

今後への期待

四季のうち、村上の観光客が少ない時期は春であることを

平成26年度 村上市四季別観光客数



ご存知でしょうか(右表参照)。この時期に開催される庭百景めぐりは、今後も継続して開催していくことで、通年の安定した観光集客の底上げも期待されています。

現に、今回庭を公開した重要文化財若林家住宅の5月の入館者数は、412人だった昨年に比べ、今年は767人と2倍近いものとなりました。

毎年、「町屋の人形さま巡り」は10万人以上、「町屋の屏風まつり」は3万人以上の人が訪れる大きなイベントになりました。この「春の庭百景めぐり」も今後に注目です。

庭を公開した皆さんの声

～開幕式から～

- ・村上の新たな良い宣伝になった。
- ・ありのままを見ていただけた。
- ・大成功の企画だった。
- ・地図がちよつと分かりにくかったのか、庭に入ってもいいのが迷っている人もいた。
- ・草むしりが大変でした。
- ・庭を公開するのが、ちよつと恥ずかしかった。
- ・旧武家町地区まで観光客が来てくれて良かった。
- ・天候に恵まれてよかった。
- ・観光客のマナーがとても良かった。
- ・日に日にお客様が来るのが楽しみになった。
- ・もっともったいとお庭があるので公開していただくと人を広めていければいい。
- ・剪定が大変だったので、ごみ袋などの補助もあると助かります。

